

2008年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の概要

3年次調査

- 調査対象者 学部 2006 年度生全員。
- 調査方法 2008 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 3723 票であり、3 月 31 日時点での在籍者数に対する回収率は 65.6% であった。

学部別回収状況（3年次調査）

	有効票数	在学者数	回収率 (%)
神学部	47	62	75.8
文学部	382	806	47.4
社会学部	421	459	91.7
法学部	407	895	45.5
経済学部	513	906	56.6
商学部	612	890	68.8
政策学部	286	428	66.8
文化情報学部	271	286	94.8
工学部	740	946	78.2
不明	44	—	—
合計	3723	5678	65.6

2008 年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2006 年度生用)

アンケートご協力をお願い

このアンケート調査は、3年次生のみなさんが、今まで本学で学生生活を過ごして来られて、本学の教育に対して感じておられることを知ることによって、より良い教育プログラムを開発することを目的として、同志社大学教育開発センター(TEL:075-251-3277)が実施するものです。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありませんし、調査結果を本学の教育改善の目的以外に使用することはありません。ただし、回答したくないと思われる質問には、無理に答えていただくなくて結構です。

質問は全部で28問ありますが、10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

みなさんの意見から得られたことを教育改善の取組を通じてみなさんに還元するための重要な資料となる本アンケートに、是非ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------------|----------------------|
| 1. 神学部神学科 | 10. 社会学部メディア学科 | 19. 工学部インテリジェント情報工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 11. 社会学部産業関係学科 | 20. 工学部情報システムデザイン学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 12. 社会学部教育文化学科 | 21. 工学部電気工学科 |
| 4. 文学部心理学科 | 13. 法学部法律学科 | 22. 工学部電子工学科 |
| 5. 文学部美学芸術学科 | 14. 法学部政治学科 | 23. 工学部機械システム工学科 |
| 6. 文学部文化史学科 | 15. 経済学部経済学科 | 24. 工学部エネルギー機械工学科 |
| 7. 文学部国文学科 | 16. 商学部商学科 | 25. 工学部機能分子工学科 |
| 8. 社会学部社会学科 | 17. 政策学部政策学科 | 26. 工学部物質化学工学科 |
| 9. 社会学部社会福祉学科 | 18. 文化情報学部文化情報学科 | 27. 工学部環境システム学科 |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2008年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. 法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試(商学部のみ) |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

7. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望 2. 第一志望以外

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまらない	らない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる
1) できないと思われることに挑戦することが楽しい	1	2	3	4	
2) 周囲に誇れる挑戦とその実績がある	1	2	3	4	
3) 大変だと思うことも「何とかなる」と考えている	1	2	3	4	
4) 何事も自分で決断する	1	2	3	4	
5) 新しいものが好きで、今までのやり方にはこだわらない	1	2	3	4	
6) グループの雰囲気が悪くならないように常に気にかけている	1	2	3	4	
7) 周囲の考えていることを敏感につかみ、話をする	1	2	3	4	
8) 一つの方法にこだわらず、他の方法で周りに働きかけることができる	1	2	3	4	
9) 状況にあわせて当初の計画を変更する	1	2	3	4	
10) 誰からの指示がなくても、自発的に動く	1	2	3	4	
11) 予想していなかった状況に遭遇しても動じない	1	2	3	4	
12) 目指すべき目標を示し、仲間をまとめてそこに向かう	1	2	3	4	
13) 誰とでも話すことができる	1	2	3	4	
14) 自分のミスを認めて、迷惑をかけた人に素直に謝る	1	2	3	4	
15) お互いの立場の違いを考えて、意見をまとめようとする	1	2	3	4	
16) 目標に向かってグループ全体が一つになるような環境作りに力を注ぐ	1	2	3	4	
17) 大きな目的を決めてそれに向かって、日々やるべきことを決めている	1	2	3	4	
18) 結論・理由・考え方を明らかにして、筋道を通して説得できる	1	2	3	4	

10. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 外国語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 国民が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
17) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
18) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
22) 自治・自立の精神	1	2	3	4	1	2	3	4
23) キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
24) 日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
25) 愛校精神	1	2	3	4	1	2	3	4

11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。
- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 5. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 6. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 7. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | |

12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールド・ワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

14. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

16. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である

17. あなたは大学に入学してから、次の項目がどのくらいうまくいきましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	うまくいかなかった	あまりうまくいかなかった	ややうまくいった	うまくいった
1) 同じ学部・学科・専攻の他の学生と交流を深める	1	2	3	4
2) 他の大学等の学生と交流を深める	1	2	3	4
3) 教員(所属学部・学科・専攻およびそれ以外も含む)との交流を深める	1	2	3	4
4) 大学の学生向けサービスを利用する	1	2	3	4
5) 大学教員の学問的な期待を理解する	1	2	3	4
6) 大学が求める学問的水準に到達する	1	2	3	4

18. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

19. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。まったく場合しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

20. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

21. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	あ ま り し な か っ た	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4
5) 日本語以外で会話する	1	2	3	4
6) スケジュールの管理をする	1	2	3	4
7) 学習の計画を立てる	1	2	3	4
8) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
9) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4
10) パソコンの e-mail を使ったコミュニケーションを行う	1	2	3	4
11) 携帯電話の e-mail を使ったコミュニケーションを行う	1	2	3	4
12) ボランティア活動をする	1	2	3	4
13) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4
14) 学生同士の研究会に参加する	1	2	3	4
15) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4
16) 学生支援センターのイベントに参加する	1	2	3	4
17) 専門学校に通う	1	2	3	4

26. あなたが働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 高校に入学する以前 | 5. 就職活動の時 |
| 2. 高校在学中 | 6. まだ考えていない |
| 3. 大学進学を決める時 | 7. その他 |
| 4. 大学入学時～就職活動前 | () |

27. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思えますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 専門的知識・技術 | 10. 問題解決能力 | 19. 組織運営力 |
| 2. ビジョン・先見性 | 11. コミュニケーション能力 | 20. 論述力 |
| 3. 自立心 | 12. 対人能力 | 21. 外国語能力 |
| 4. 行動力・実行力 | 13. 状況判断力 | 22. 異文化理解能力 |
| 5. 協調性 | 14. 自己改革力 | 23. 異文化の人と協力する能力 |
| 6. 創造性 | 15. 客観的評価能力 | 24. グローバル化する問題を理解し評価する能力 |
| 7. 達成意欲 | 16. 粘り強さ | 25. その他 () |
| 8. リーダーシップ | 17. プレゼンテーション能力 | |
| 9. 問題発見能力 | 18. 論理的思考能力 | |

B群

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------------|
| 1. 大学の授業(教養科目) | 5. 留学 | 9. 就職活動時 |
| 2. 大学の授業(専門科目・ゼミ) | 6. クラブ・サークル活動 | 10. 大学生活ではあまり身につかない |
| 3. 大学の授業(外国語教育科目) | 7. アルバイト | 11. その他() |
| 4. 海外語学研修のプログラム | 8. ボランティア活動 | |

28. 本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

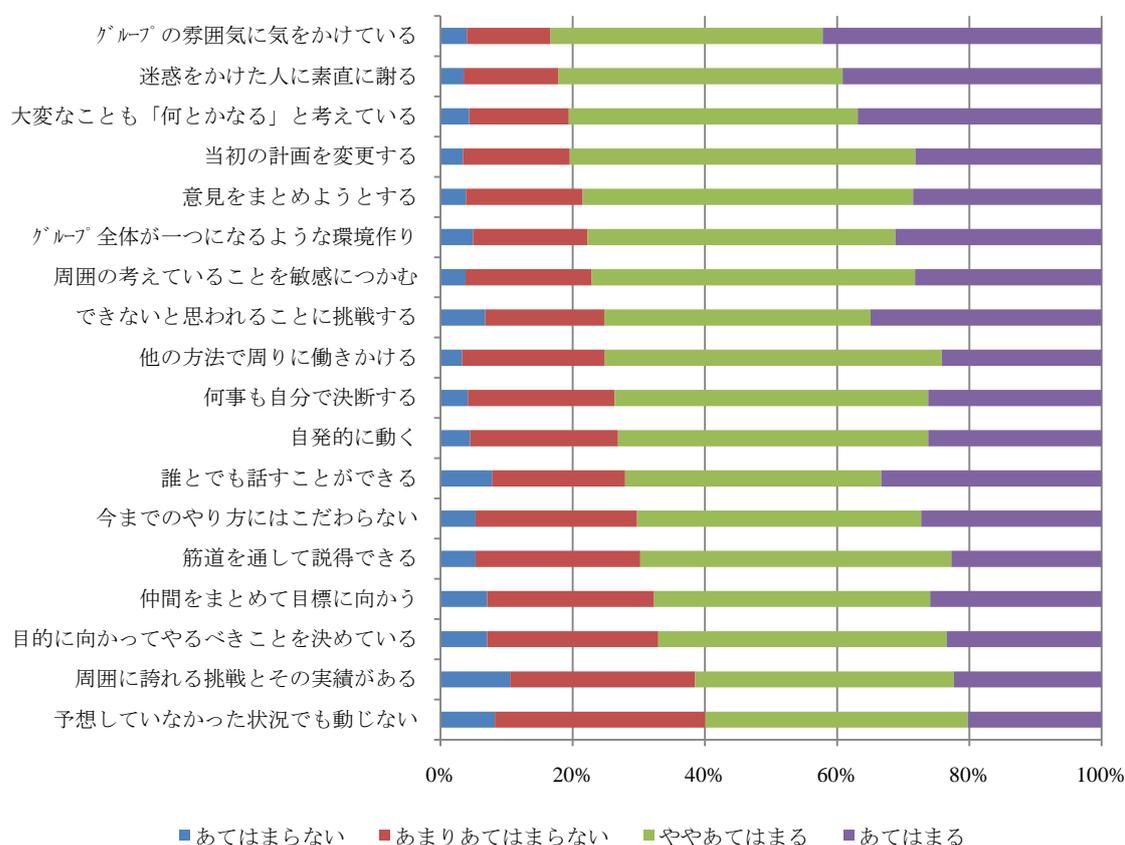
ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

Q9. あなた自身について、以下の点はどの程度あてはまりますか。

Q9では学生が自分自身に対して、どのようにイメージしているかを質問している。18項目の意識や行動等に関して、学生自身がどの程度あてはまるかを回答してもらっているが、図1では、「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計が多い順に示し、回答の傾向を見ている。それによれば、「グループの雰囲気気に気をかけている」や「迷惑をかけた人に素直に謝る」で肯定する割合が高い。一方で、「周囲に誇れる挑戦とその実績がある」や「予想していなかった状況にも動じない」などについては肯定する傾向が相対的に低い。こうした傾向は1年次調査とも一致する。

図1 自分自身に対するイメージ (Q9)

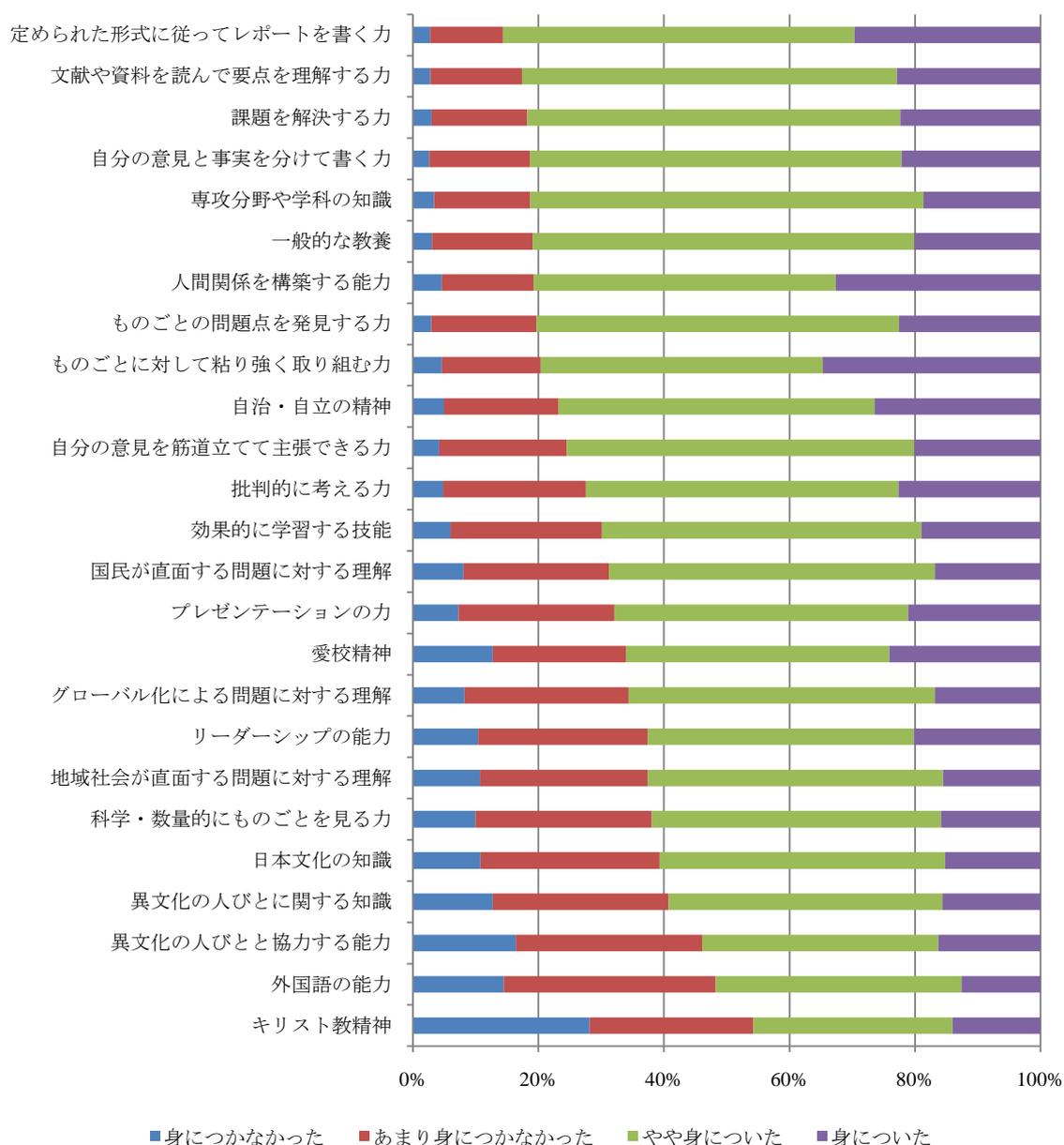


Q10. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を体験されて、その力がさらに身についたと思いますか。

Q10では複数の知識・技能に関して、それらが学生生活を体験することによってどの程度

身についたかを4段階の尺度（「身につかなかった」、「あまり身につかなかった」、「やや身についた」、「身についた」）で質問している。図2では、学生が3年間学んで、それぞれの知識・技能が、どの程度身についたと認識しているのかを整理している。ここでは、身についた（「やや身についた」＋「身についた」）と回答した学生が多い順に項目を並べている。これを見ると、「定められた形式に従ってレポートを書く力」や「文献や資料を読んで要点を理解する力」などが上位に位置している。こうしたスキルは多くの学生が身についたと認識している。

図2 知識・技能の獲得状況「現在」(Q10)

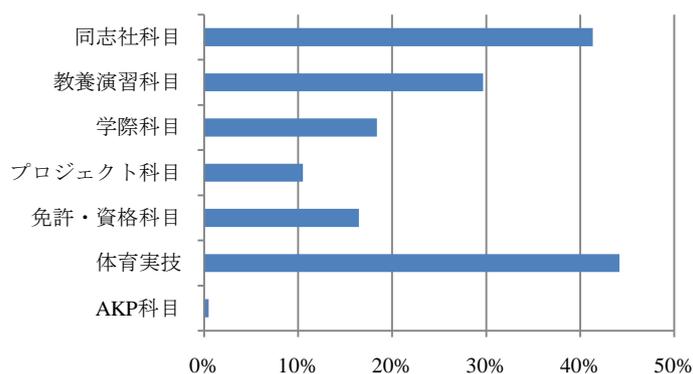


一方で、「異文化の人々と協力する能力」、「外国語の能力」、「キリスト教精神」は身についたと回答した学生とそうでない学生がおよそ半数ずつに分かれている。「異文化の人々と協力する能力」のように下位に位置する項目については、実際に大学でそうした機会がなく、大学教育を通して身につけることが困難であることを示唆している。

Q11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。

Q11 ではこれまでの履修状況について回答してもらっている（図 3）。ここでは特徴的な授業の履修状況について質問しているが、例えば、本学の建学の精神や理念にふれる「同志社科目」はおよそ 40%の学生が、プロジェクトをベースとした学生参加型の「プロジェクト科目」は 10%程度の学生が受講していることなどが分かる。

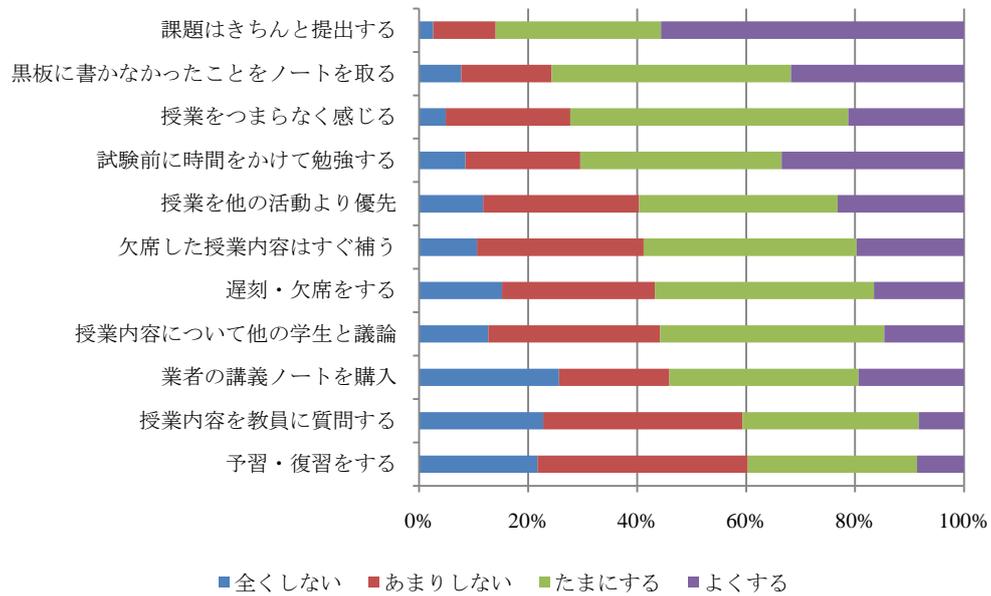
図 3 授業の履修状況（Q11）



Q12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。

Q12 は、日々の授業に対してどのように取り組んでいるかを質問している（回答は「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」の 4 段階）。全体の傾向を見ると、学生が授業をつまらなく感じることもしばしばあるが、ノートを取るなどの基本的な学習態度は身につけていること、課題提出や試験勉強は単位取得との関係もあり、「課題はきちんと提出する」や「試験前に時間をかけて勉強する」については多くの学生が行っている様子が示されている。一方で、「授業内容を教員に質問する」や「授業の予習や復習をする」については、「たまにする」「よくする」を合わせて 4 割程度となっている（図 4）。

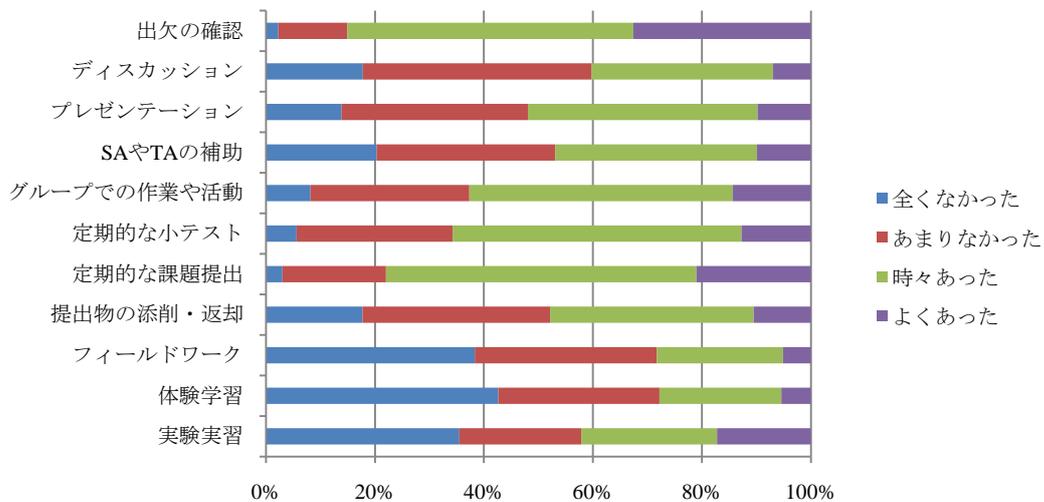
図4 授業に対する取り組み (Q13)



Q13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。

Q13 では大学で行われる様々な授業形態について、そうした授業を経験したかどうかを4段階（「全くなかった」、「あまりなかった」、「時々あった」、「よくあった」）で回答してもら

図5 受講した授業の形態

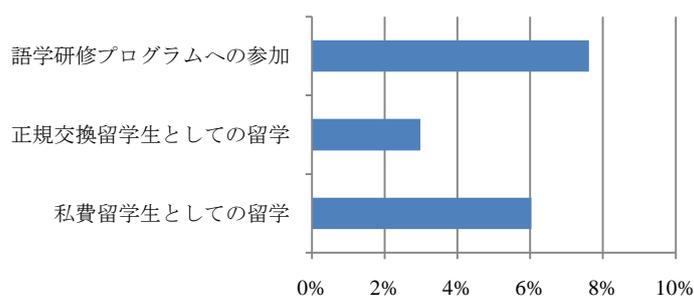


っている。図5によると、「出欠の確認」や「定期的な課題提出」はほとんどの学生が経験している。相対的に頻度の低いものは、学生自身の主体的な参加を必要とする授業形態（「フィールドワーク」「体験学習」「実験実習」）であるが、これらについても3割から4割程度の学生は3年次終了の時点であったと回答している。

Q14. あなたは、大学入学後につぎのような経験をしたことがありますか。

Q14では学生の留学等の経験の有無について質問している（図6）。大学入学後の留学経験は全体で6～8%程度とごく一部の学生に限られているが、1年次よりも経験した学生は多くなっている。

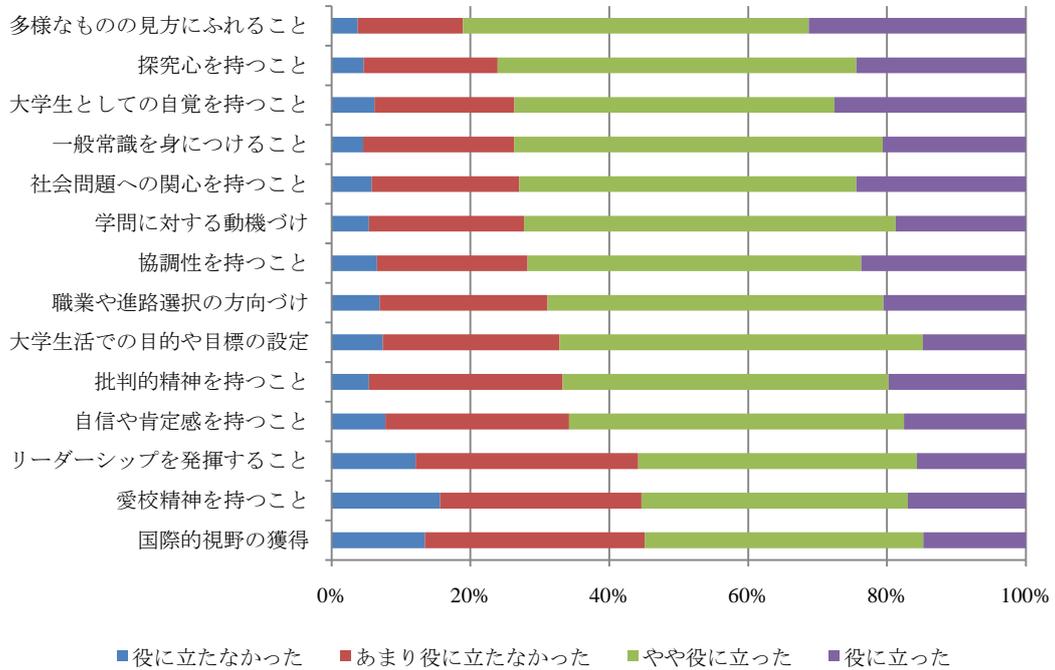
図6 留学等の経験（Q14）



Q15. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

Q15では様々な項目に対して、大学の授業内容がどの程度役に立ったかを質問している（回答は「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」の4段階）。図7によると、「多様なものの見方にふれること」では、80%程度の学生が役立った（「やや役に立った」+「役に立った」）と回答している。一方で、「リーダーシップを発揮すること」「愛校精神を持つこと」「国際的視野の獲得」は役に立ったとする学生が50%を少し超える程度である。こうした結果は1年次生の結果とほぼ同様である。

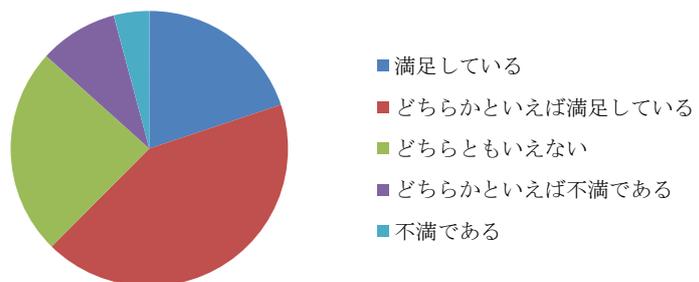
図7 授業に対する評価 (Q15)



Q16. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。

Q16 では本学の教育全般に対する満足度について質問している。図8のように、「どちらかといえば満足している」と回答した学生が最も多いが(42.6%)、これに「満足している」(19.9%)を加えると全体では6割の学生が満足と回答している。不満と回答した学生は、全体で1割強であるが、「どちらともいえない」と判断を保留する者も全体の1/4程度見られる。

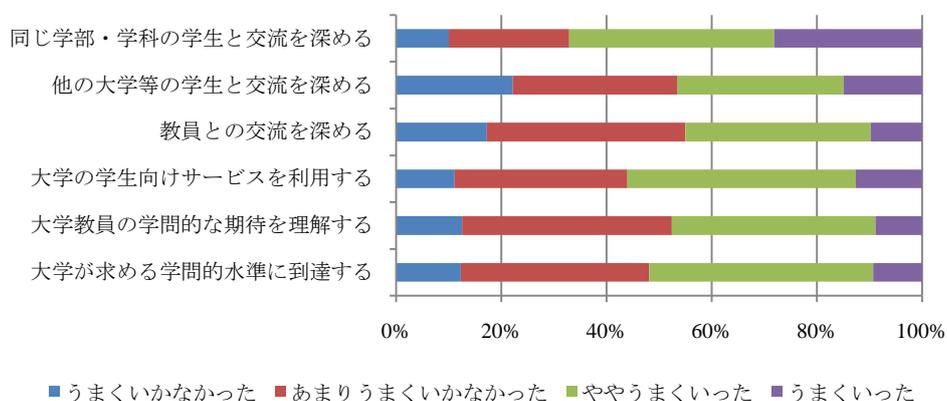
図8 教育満足度 (Q16)



Q17. あなたは大学に入学してから、次の項目がどのくらいうまくいきましたか。

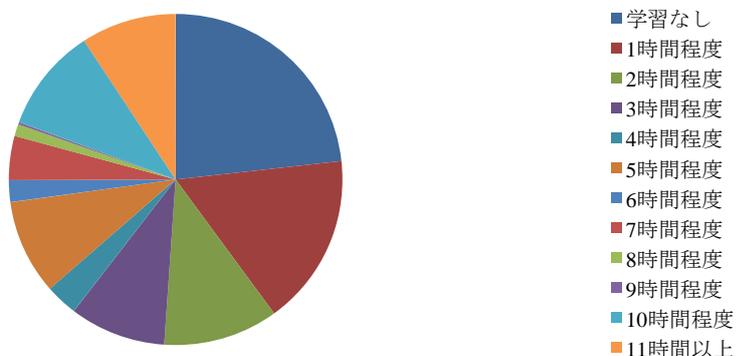
Q17 では大学への適応を、友人や教員とのかかわりおよび学問的な到達の観点から見ている。「うまくいかなかった」から「うまくいった」までの 4 段階の選択肢を設けているが、図 9 を眺めれば、「同じ学部・学科の友人と交流を深める」に対して肯定的に回答する学生は相対的に多いものの、「うまくいかなかった」あるいは「あまりうまくいかなかった」と回答した学生を合わせれば 3 割に上る。また、「教員との交流を深める」にうまくいったと考える学生は半数をやや下回るが、1 年次生に比べればその割合は増加しており、学年の進行にしたがって教員との関係が密になっていくことが確かめられる。

図 9 大学への適応 (Q17)



Q18. あなたは授業期間中、通常 1 週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル等）を行いましたか。

図 10 1 週間あたりの授業外学習時間 (Q18)

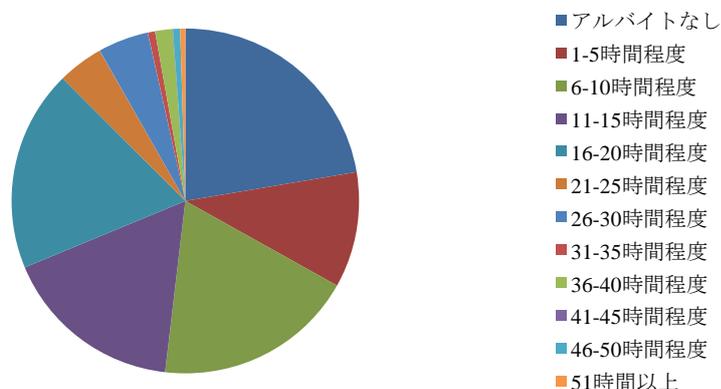


Q18 では授業期間中の授業外学習時間（1週間あたり）について質問している。1週間あたりの授業外学習時間の平均は全体で 5.2 時間であった。図 10 のように 1 時間ごとに細かく区分してみると、およそ 1/4 の学生は、ほとんど授業外の学習をしていない。これに 1 時間程度と 2 時間程度を加えれば、半数の学生は学習時間が 2 時間までにとどまることが分かる。10 時間を超える者については、10 時間程度が 10.1%，11 時間以上が 9.2%であった。こうした長時間の学習者が平均学習時間に大きく反映されたといえる。

Q19. あなたは授業期間中に、通常 1 週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

Q19 では授業期間中のアルバイト従事時間（1週間あたり）について尋ねている。アルバイトの平均時間は 11.9 時間だが、図 11 では従事時間を 5 時間ごとに区分している。全体では 2 割強の学生がアルバイトをしていない。アルバイトを行っている学生では、6 時間から 20 時間程度の学生が多く、「6-10 時間」「11-15 時間」「16-20 時間」が順に 18.7%，16.9%，18.8%であった。一方、1 週間あたり 21 時間以上の学生を累積すれば、12.4%である。

図 11 1 週間あたりのアルバイト従事時間（Q19）

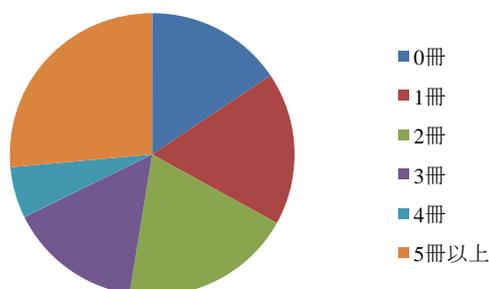


Q20. あなたは、最近 3 ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。

次に学生の読書習慣について見たものが図 12 である。図には最近 3 ヶ月間に読んだ本の冊数を示しているが、「5 冊以上」と回答した学生が最も多く、全体の 1/4 程度を占める。

一方、「0冊」から「3冊」についてはそれぞれ15%から20%程度であった。

図12 読んだ本の冊数 (Q20)



Q21. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

Q21では学生の学生・生活習慣について4段階の選択肢（「しなかった」、「あまりしなかった」、「たまにした」、「日常的にした」）で回答してもらっている。全部で17項目あるが、ここでは活動内容の近いものを同一のグラフにまとめている。1年次調査についても同様の集計を行ったが、傾向はほぼ同様であった。1年次の結果と比較的大きな違いが見られたのは、図15に示した項目であり、上級生のほうがパソコンを使った活動が頻繁になっていた。これは、学業や就職活動の面で「インターネットで情報収集」「パソコンを使って文書や資料を作成」「パソコンのe-mailを使ったコミュニケーション」などの必要性が高まっているためだと考えられる。

図13 文献や新聞を読む (Q21)

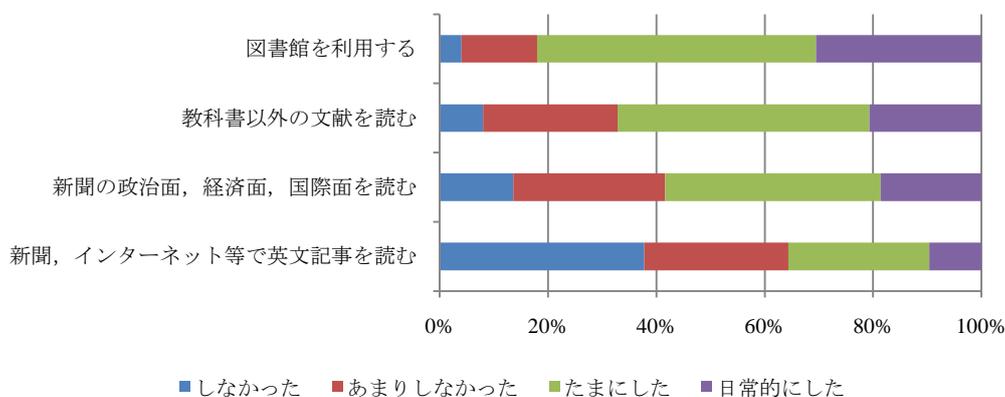


図 14 時間の管理 (Q21)

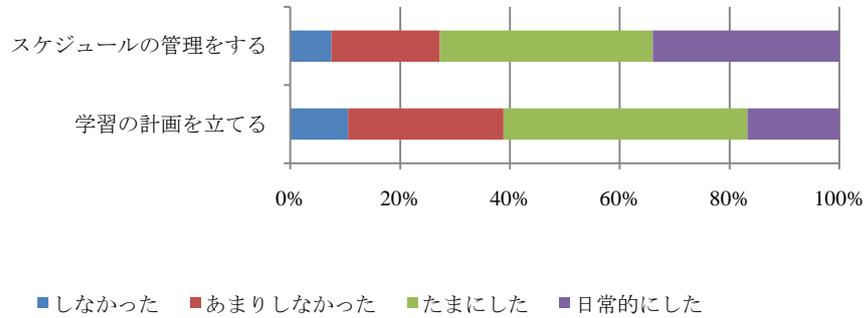


図 15 パソコンの利用状況 (Q21)

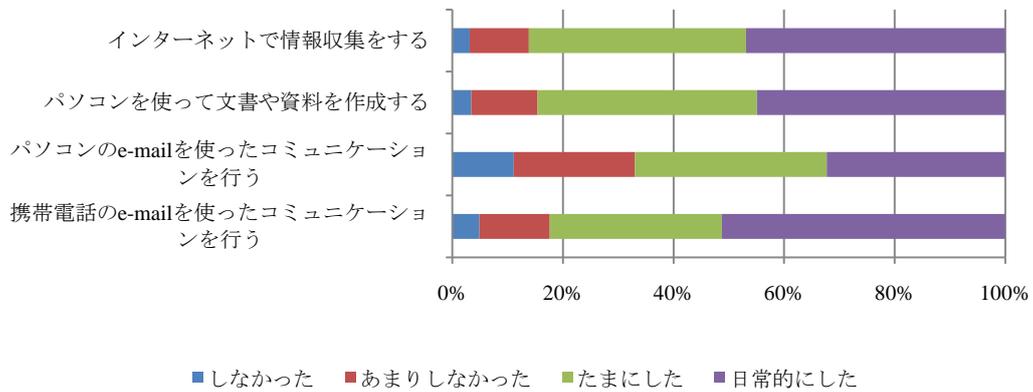
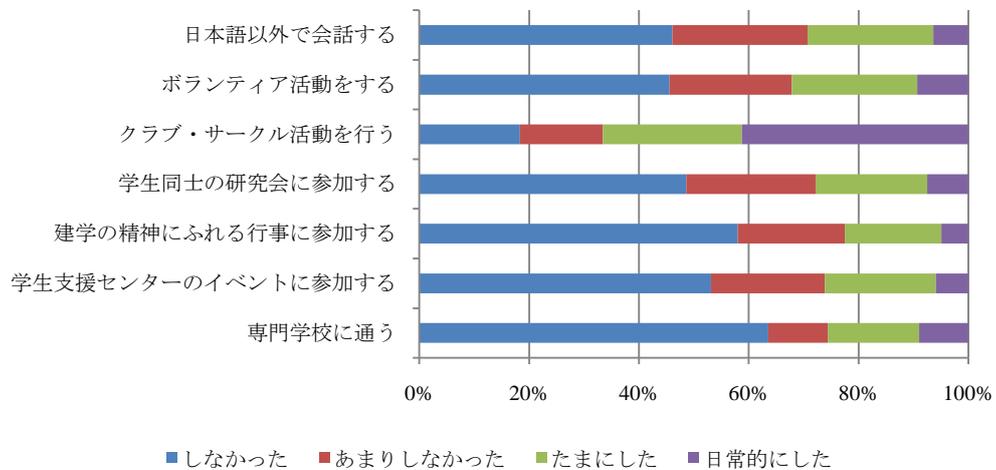


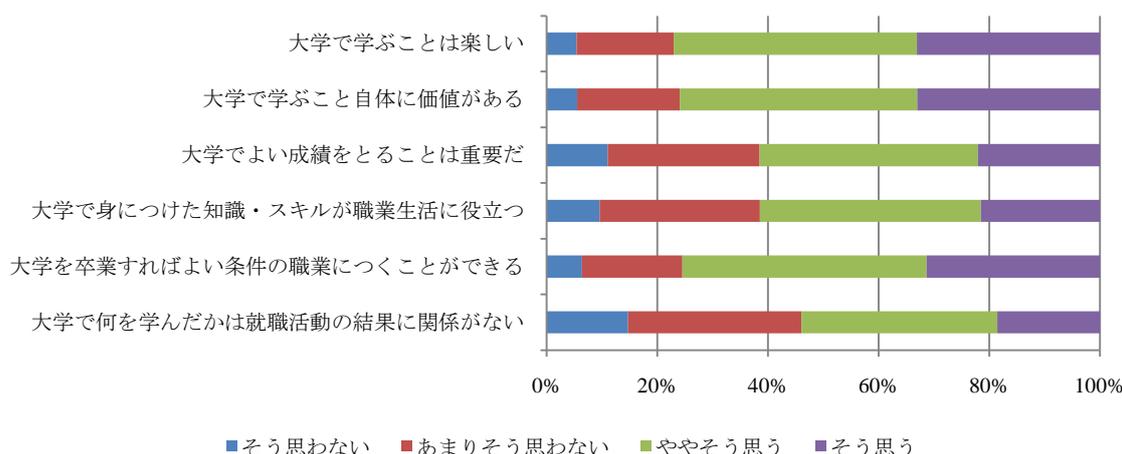
図 16 その他 (Q21)



Q22. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

Q22 では学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを質問している。個々の質問項目は図 17 のとおりであるが、多くの学生は大学での学習を楽しく、学ぶこと自体に価値があると考えているようである。また、大卒学歴がよりよい条件の職業と結びつくことについても多くの学生が肯定している（「大学を卒業すればよりよい条件の職業につくことができる」）。これらの項目に比べれば、「大学でよい成績をとることは重要だ」や「大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」を肯定する割合はやや低い。また、大学での学習内容と就職の関係については、学習自体が就職活動の結果を左右すると考える者とそのように考えない者がおおよそ半数ずつとなっている。

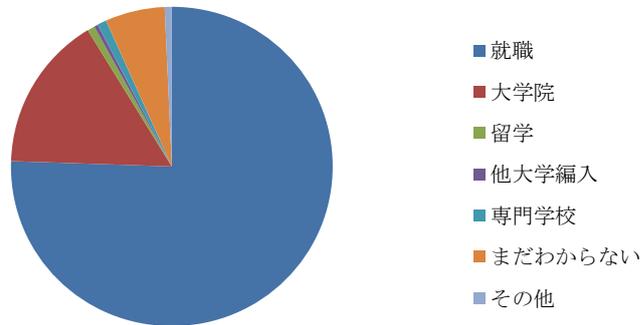
図 17 大学教育の価値 (Q22)



Q23. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

3年次調査の Q23 以降では、将来の進路について学生がどのように考えているかを質問している。まず、卒業後に希望する進路について示したのが図 18 である。全体では 75.5%が就職、15.7%が大学院進学と回答している。また「まだわからない」とする未定層も 6.0%確認された。

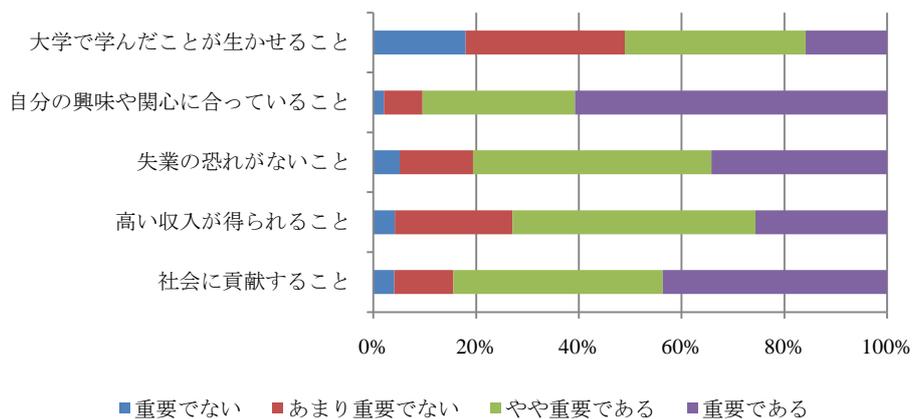
図 18 希望する進路 (Q23)



Q24. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですが。

Q24 では仕事や就職先を選ぶ際に、5 つの項目をどのくらい重視するかを質問している。Q24 に含まれる項目のうち、「自分の興味や関心に合っていること」が最も重視される割合が高く、「重要でない」や「あまり重要でない」と回答した学生はごく少数である。これに比べれば、「大学で学んだことが生かせること」を重視する割合は相対的に低く、重視しない者と重視する者がそれぞれ半数を占める (図 19)。

図 19 就職の際に重視する要因 (Q24)

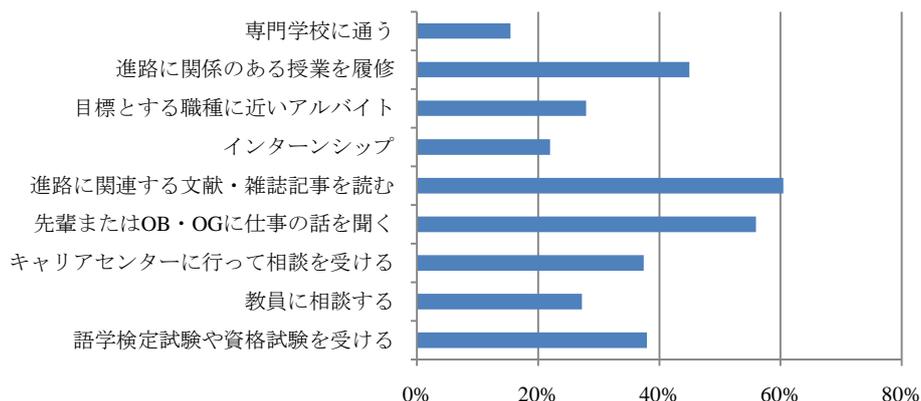


Q25. あなたは、希望する進路のためにどのような次のような活動を行いましたか。

Q25 では学生が希望する進路に関して、どのような活動を行ったかを質問している。図

20には9項目について各活動を行った学生の割合を示しているが、「進路に関連する文献・雑誌記事を読む」を行った学生が最も多く、およそ6割の学生が実行している。これに、「先輩またはOB・OGに仕事の話聞く」が続く。また3年次の終了時点までに「インターンシップ」や「専門学校に通う」を経験した学生は2割程度である。

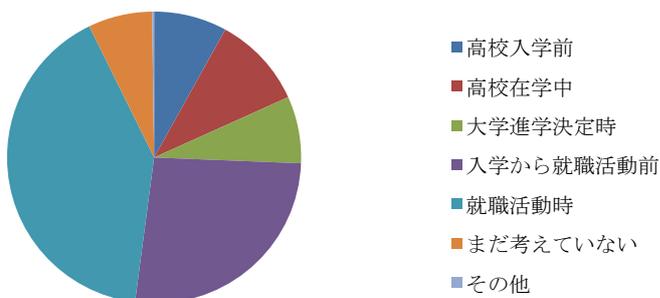
図20 希望する進路のための活動 (Q25)



Q26. あなたが働くこと（希望する進路）について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。

Q26では働くことについて真剣に考え始めた時期について質問している。全体の傾向は図21の通りであるが、大学入学前（「高校入学前～大学進学決定時」と大学入学後（「入学から就職活動前～就職活動時」）に分けると、それぞれ25.6%と67.1%であり、大学入学後に考え始める学生が多いことが分かる。とくに、「就職活動時」と回答した学生が4割を占める。一方で3年次終了時点でも「まだ考えていない」と回答した学生は、7.0%であった。

図21 働くことについて考え始めた時期 (Q26)

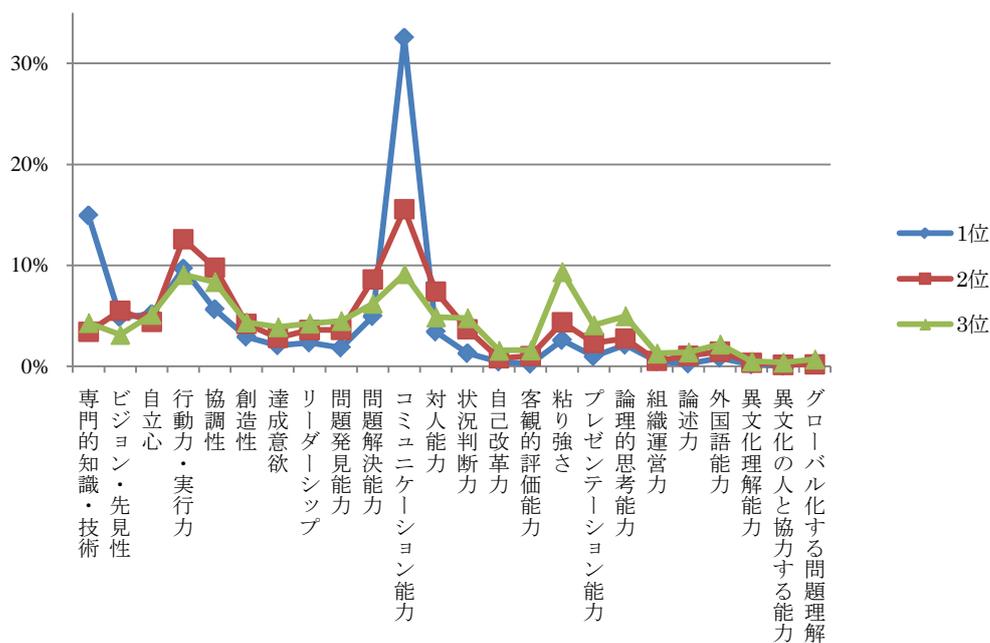


Q27. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。また、その能力は大学生生活のどの場面で得られると考えていますか。

Q27は、希望する進路において必要とされる能力観に関するものである。この質問では、(1) 必要な能力と、(2) その能力が大学生生活のどのような場面で得られると考えるか、の2つについて上位3位までの回答を求めている。

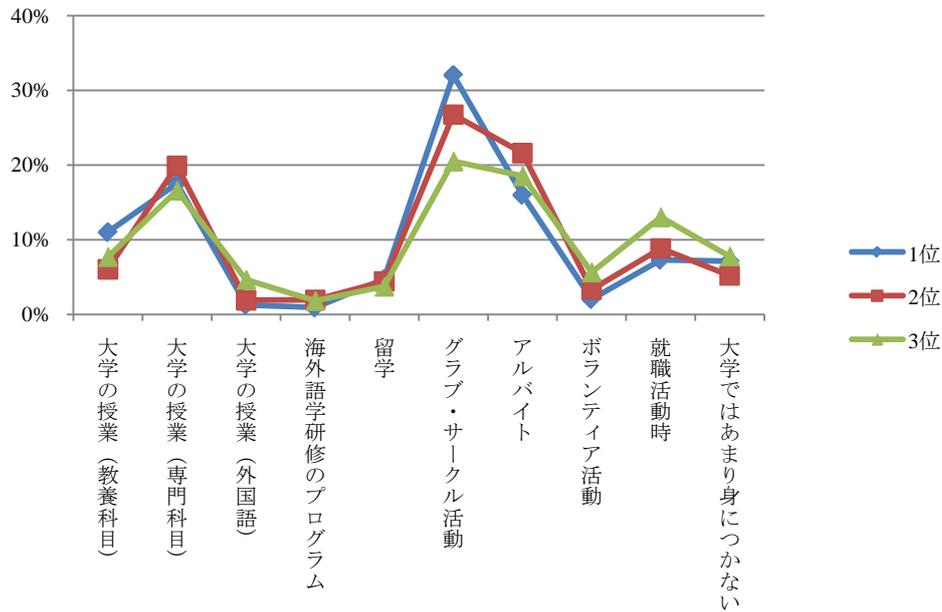
まず、学生がどのような能力が必要と考えているかを示したのが図22である。図では順位別に表示しているが、1位では「コミュニケーション能力」が突出しており、なによりもまずコミュニケーション能力が必要だと考える学生が多いことと推察される。1位ではこれに次いで「専門的知識・技術」が必要と考える学生が多い。2位以下でも「コミュニケーション能力」を挙げる学生は多いが、そのほかの項目では「行動力・実行力」や「粘り強さ」を重視する回答も相対的に多い。

図22 希望する進路に必要な能力 (Q27)



そのような能力が大学生生活のどの場面で得られると考えているかを示したのが、図23である。回答パターンにおいて順位の違いはそれほど大きくなく、順に「クラブ・サークル活動」「アルバイト」「大学の授業（専門科目）」と回答した学生が比較的多い。

図 23 必要な能力が獲得される場面 (Q27)



以上の図ではそれぞれ将来の進路において必要とされる能力と、そうした能力が獲得される場面についてみてきたが、必要な能力と場面がどのように関連付けられているかを見たのが図 24 である。図には項目ごとに、どのような場面が想定されているかを 1 位から 3 位までの回答を合併して集計している。また、希望する進路に必要な能力として最も重視されている項目から順に並べているが、「コミュニケーション能力」は「クラブ・サークル」や「アルバイト」で獲得されると考えている学生が多い。この傾向は、「行動力・実行力」と「協調性」でも同じである。これに対して、必要な能力を「専門的知識・技術」と回答した学生は、獲得場面を「大学での授業 (専門科目)」と「大学での授業 (教養)」とする割合が高く、大学での学習に期待が寄せられている。同様に、「論理的思考能力」や「プレゼンテーション能力」「論述力」についても、大学での獲得が期待されていると見ることができる。また、「外国語能力」については「留学」場面での獲得が想定されているが、「大学での授業 (外国語科目)」と回答した学生も少なくない。

このように学生の認識においては、これから向かう進路に必要な能力の獲得に関して、学生生活のそれぞれの場面に異なった意味づけがなされていることが確認される。

図 24 希望する進路に必要な能力と獲得される場面

